

「近畿地方整備局 コンプライアンス・アドバイザー委員会」

委員会概要

1. 日時 : 令和8年 3月 2日 (月) 14時00分～16時00分
2. 場所 : 近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1階 共用会議室
3. 出席委員 :

委員長	井上 圭吾	弁護士
委員	小西 華子	弁護士
委員	高橋 司	弁護士
委員	本岡 正則	公認会計士・税理士
委員	吉川 吉衛	国土館大学 防災・救急救助総合研究所 客員教授

(委員は五十音順)
4. 議事 :
 - (1) 令和7年度近畿地方整備局コンプライアンス推進計画の取組報告
 - (2) 令和8年度近畿地方整備局コンプライアンス推進計画 (案)
 - (3) 意見交換

委員会概要



▲ 井上委員長



▲ 高橋委員



▲ 小西委員



▲ 本岡委員



▲ 吉川委員



▲ 齋藤推進本部長

委員から出された提言・感想

(1) 令和7年度のコンプライアンス推進の取組について

- ・ 非常に丁寧に取り組んでいただいている印象を持った。
- ・ 理解度チェックについて、知識を身につけることはもちろん大切だが、単に正解、不正解だけではなく、設問についてディスカッションを行うことで課題が見つかることもある。
- ・ 理解度チェックについて、あまり理解していない、ほとんど理解していないとの回答が一定数ある。その理由の分析や対応を考える必要があるのではないか。
- ・ コンプライアンス遵守メッセージに局長の顔写真が入っていることはとても良い。若手中堅職員にとって、幹部職員からの「見守られ感」、「安心感」が仕事のやりがいに繋がる。
- ・ 不当要求行為及びカスタマーハラスメントの対応について、理不尽な要求であると判断する基準や、具体的な対応方法を職員に周知する取り組みを検討していただきたい。

委員から出された提言・感想

(2) 令和8年度コンプライアンス推進計画（案）について

- 全体的に簡素化と分かり易さの向上が意識的に図られており、皆様の熱量を感じた。特に「はじめに」には、近畿地方整備局が担う防災・減災、国土強靱化の取り組みを公平かつ誠実に遂行することの重要性が端的に述べられている。
- 風通しのよい魅力ある職場環境づくりに努める、という言葉がとても印象に残った。
- PCポップアップメッセージ等の活用によって、トップが強いメッセージを発信し、職員のコンプライアンス意識の向上に努めていただきたい。
- ハラスメント通報窓口や、匿名通報が可能なことについて、引き続き職員に対して周知を行っていただきたい。内部通報があることは、風通しの良い職場づくりの表れでもある。心理的安全性の高い職場を目指して取り組みを継続してもらいたい。

委員から出された提言・感想

(3) その他

- ・ 人員不足に加えて賃金や資材価格の高騰などを背景に、業者の受注競争が激化しており、工事などを受注したくても思うように受注できない業者がいると聞く。このことは、発注者としてコンプライアンスリスクに繋がる可能性があることに留意していただきたい。
- ・ A I が急速に進化している。業務委託を行う時に、委託業者が良くない事だと知らずに個人情報等をA I に読み込ませてしまう事例がある。ある自治体において著作権の侵害をしない、個人情報や機密情報を入力しない、出力結果を確認せずに使用しない、等が業務委託契約書に明記してある事例があるので、参考にしていただきたい。
- ・ 業務執行に対する大きなプレッシャーを職員が感じたときに、コンプライアンス違反が起こるリスクが高くなる。職員に過度なプレッシャーがかからないような工夫、仕組みづくりが必要である。